



TT通信



～TEAM TAKANISHI 心一つに 未来をつくる～

第21号

令和3年1月18日

研究主任 小坂



明日は東部教育事務所 土生エルダーの訪問日です！

明日は東部教育事務所 土生エルダーの訪問日です。この訪問の機会を、目指すべき方向性を再確認し、組織的に取り組みましょう。

研究推進部から『授業』についての確認を行います。授業計画と照らし合わせながら再確認していただけたらと思います。

3学期に重点的に取り組むことの再確認を！

年始の校内研修で確認させていただいた研究推進部より3学期に重点的に取り組むことについて再度確認をします。それぞれの教科性をいかしながら、重点的に取り組むことの視点を盛り込んで授業実践をお願いします。

その1 授業スタイルの徹底（プレートの活用）

授業スタイル

		生徒の姿
45分	導入	なぜ・ずれ・発見
	展開①	思考 ：自分の考えをもつ
	展開②	深化 ：学び合い考えを深める
5分	終末	まとめ・振り返り

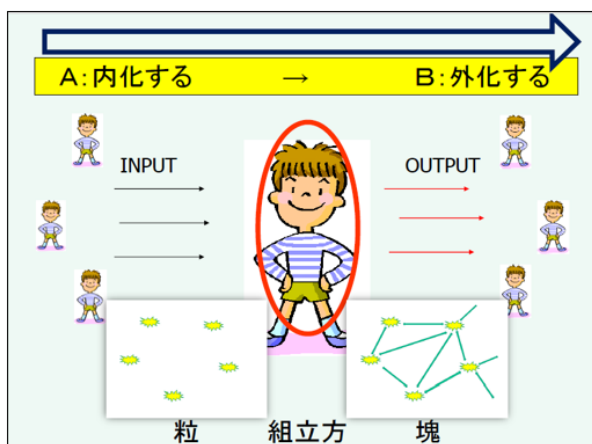
めあて

学習指導要領の表現を**いかした**本時に「**付けたい力**」を示したもの「**～できる**」の形で表現する

生徒の思考や課題意識を促す「問い」

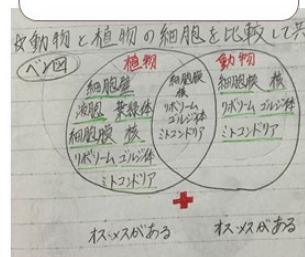
×活動内容

その2 知識の粒を塊にする視点で授業設計を！



思考ツールの活用

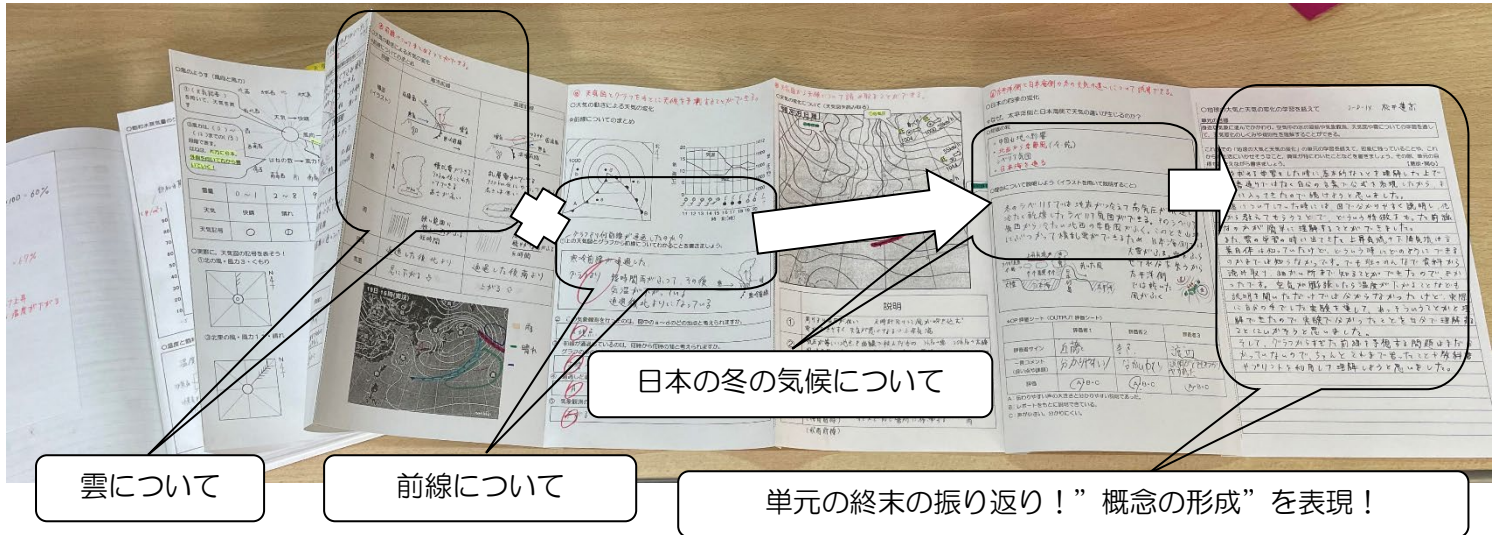
ベン図
(比較・分類)



クラゲチャート
(関係づけ・理由づけ)



知識の粒を塊に ～学びを繋げるイメージで～



知識の粒を繋げて→新しい概念の形成

『学びの変革』チェックリスト（授業前にご確認を！！）

確認項目		確認チェック
『授業モデル』に沿った授業を！ 学習の流れのプレートを必ず使う！	導入—思考—深化—まとめ・振り返りの流れの実践を！ 授業プレート（めあて・個人思考・集団思考・まとめ・振り返りプレート）を黒板に先に貼っておく！	
『めあて』『まとめ』『振り返り』の徹底！	『めあて』は生徒の思考を促す問いとなっているか。活動ではなく、『質問』のイメージで！	
学習の流れを書く	今何をすべきなのか明確にし、引き締まった授業をつくるためにかかせません。UD（ユニバーサルデザイン）の視点を！	
板書の充実	1時間の学びを自覚できる板書作りを！生徒はそれをもとに『まとめ』『振り返り』をします！	
じゃべりすぎない	教師は指導者ではなく、支援者。『わかる』『できる』をサポートしましょう。	
指導と評価の一体化	評価のものさし（規準）を提示し、生徒へ求める姿を示しましょう。また、机間指導や生徒の発言に対して適切に評価しましょう。	

この訪問時の1時間の授業を見直しましょう。その1時間1時間の『学び』をつなぐことが『できる』『わかる』につながります。どうぞよろしくお願いいたします！

” 学びをつなぐ できるにつなぐ ” ~innovation from Takanishi~